



日野町青少年育成町民議会報 第 67 号 (令和 8 年 3 月)  
 発行者 日野町青少年育成町民議会  
 会長 安藤 宜保  
 (日野町教育委員会事務局 生涯学習課内)  
 〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地  
 ☎ 0748-52-6566  
 ✉ kik-syogai@town.shiga-hino.lg.jp

令和 7 年度も構成団体をはじめとする多くの皆さまのご協力のもと、様々な事業を実施することができました。関係者の皆さまありがとうございました。今回が今年度の最終号となります。

来年度以降も地域の方々子どもを見守り、「大人が変われば 子どもは変わる 子どもが変われば 未来が変わる」を合言葉にあいさつ運動をはじめとして輪を広げ、温かい町となるよう取り組みを進めてまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## 令和 7 年度 活動報告

1 年を通して	あいさつ運動の推進
6 月 から 令和 8 年 2 月 まで	子ども見守り活動 (日野町 P T A 連絡協議会委託事業)
5 月 30 日	令和 7 年度 日野町青少年育成町民議会 総会
7 月 1 日 から 7 月 31 日 まで	青少年の被害・非行防止滋賀県強調月間の啓発活動
6 月 10 日・12 日・16 日	小学校巡回ラジオ体操講習
11 月 1 日 から 11 月 30 日 まで	滋賀県子ども・若者育成支援推進強調月間の啓発活動
11 月 24 日	令和 7 年度 ひのっこ大会～日野町青少年意見発表大会～

～1 年間ご支援ご協力ありがとうございました～



# “地域であいさつ運動”（必佐小学校見守り応援隊）

町内の各地域、特に学校では様々なかたちで「あいさつ運動」に取り組んでいただいています。今回は必佐小学校の取り組みをご紹介します。

必佐地区では平成29年度から「朝のあいさつ運動」をされています。これは当時の必佐小学校は、教室での授業に集中できない児童もおり、落ち着かない状況であったことから、“子どもたちが生き生きと学校生活を送るために、地域として取り組もう”との想いから始まったものです。この運動に協力されている必佐地区の地域団体の共同体は「必佐小学校見守り応援隊」と名付けられ、18団体が参加されています。

当初はあいさつをしても下を向いて歩く子どもが多く、元気な返事はあまり返ってきませんでした。粘り強くあいさつを繰り返すことで2～3年後には子どもたちの表情にも変化が現れ、今では町なかでもあいさつのできる子どもたちも多くなったそうです。また、数年前からは児童会が当番を決めてあいさつ運動に参加するなど、児童の自主性も出てきているとのこと。

取材に行くと、区長会・民生委員・女性会の方々と校長先生がおられました。登校してきた子どもたちに「おはよう」「いってらっしゃい」と声かけをすると、しっかりこちらを向いて「おはよう！」と元気なあいさつが返ってきました。



おはようございます!!



気持ちよく暮らすための“あいことば”

## ひのっこ宣言

65号に続き、「ひのっこ宣言」をご紹介します。

数値では測れない「生きる力（非認知能力）」を育もうと、日野町の大人と子どもたちが話し合いを重ねて作りあげました。「ひのっこ」とは、子どもだけでなく大人も含む【日野町のみなさん】のことです。

※6つの宣言文の中から2つずつをご紹介します。（今回で最終回です）

### しっばいも「かまへん かまへん だんないで」



「だんないで」は「できなくても、心配しなくても大丈夫」という日野町に古くから伝わるおまじないのような言葉です。

このあたたかい言葉を聞くと、またがんばることが出来ますね。

### だれとでも たよりたよられ 助け合い

ひとりじゃできないことがあれば、誰かと協力すれば良いでしょう。人と助け合えることが大切です。助けたり、助けられたり、お互い様の関係を築きましょう。



＼ ひのっこが よりよい日野町 つくれます! ／